

GIGAスクール端末の管理・運用に必要なものがすべて揃います!

GIGAスクール構想による1人1台端末の新しい学びを実現するには、学習用端末の“管理”だけでなく、授業や自宅学習で端末を円滑かつ安全に利活用するための適切な“運用”が求められます。Jamfが提供する「Jamf GIGAパッケージ」はデバイス管理に加え、学校専用アプリカタログやデータ通信量の可視化、安全なWEBフィルタリング、保護者による端末制限といった、教育現場で真に求められる端末管理・運用のための各種機能をまとめた特別なパッケージです。

「Jamf GIGAパッケージ」の内容



Jamf Pro

MDM

Appleデバイスの一元管理が可能です。



Jamf Parents

持ち帰り学習

保護者が児童生徒の端末を管理できます。



Self Service

アプリカタログ

学校専用のアプリカタログを構築できます。



Jamf Data Policy

フィルタリング

危険なWebコンテンツから児童生徒を守ります。



Jamf Data Policy

データ通信量可視化

デジタル教科書等の利用状況の可視化、分析が可能です。



Jamf Teacher

授業支援

先生は教室内の児童生徒の端末を管理できます。

文教向けMDMのスタンダードとして、JamfはGIGAスクールを含む多数の学校で使われています。

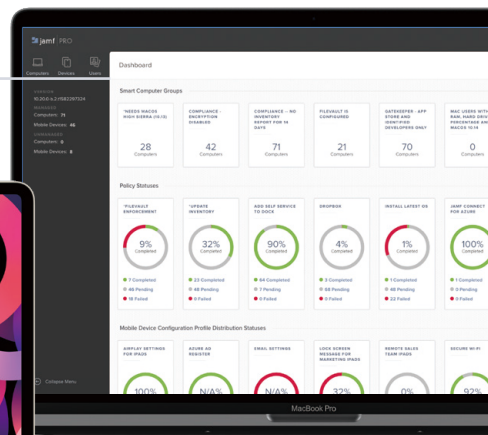
「Jamf GIGAパッケージ」の詳細

Jamf Pro MDM



Apple専用のMDMソリューションであるJamf Proは、世界6万7000以上の組織で2600万台以上のAppleデバイスの管理に利用されています。デバイス管理者は、児童生徒の生産性と創造性を保ちながら、端末をリモートで効率的に管理できます。

デバイス管理に必要なすべての機能が詰まっています



主な特徴

- Appleデバイス管理のスタンダード
- 端末導入～運用までの作業全般を効率化/自動化
- OS同日サポートを10年連続で実施
- 柔軟なグループ設定を可能にするスマートグループ機能
- 独自のトレーニングプログラム「JumpStart」

Jamf Data Policy フィルタリング



Jamf Data Policyは、インターネットサービスのコンテンツフィルタリングを行い、危険なWebサイトへのアクセスを防ぎます。持ち帰り学習にも対応しているので、利用場所を問わず、安心・安全な学習環境を実現します。

主な特徴

- 通信種別(Wi-Fi / LTE)ごとのポリシー設定が可能 (LTE接続時はYouTube接続不可、Wi-Fi接続時にのみYouTube閲覧可能など)
- Webサイトとアプリの両方に対応

Jamf Data Policyのその他の特徴

- OSバージョンアップに迅速対応** Appleから毎年リリースされるOSのアップデートによって実装される機能や仕様の変更に対応します。
- ゼロタッチで簡単に展開** Jamf ProなどのMDMと連携することで、サイレントインストールにて展開可能です。端末側から手動でアクティベートする必要はありません。
- MDMとの優れた連携** Jamf Pro/Schoolのスマートグループ機能を利用してグループごとのフィルタリングを柔軟に適用/変更でき、運用工数を削減できます。

Jamf Parents 持ち帰り支援



GIGAスクール端末を持ち帰り学習で利用する際に、保護者はお手持ちのiPhoneやiPad、Androidなどのデバイス上にインストールしたJamf Parentsアプリを利用して、ご家庭の教育方針に合わせて児童生徒の端末管理を行えます。

主な設定可能項目

- 利用可能アプリの制限
- デバイスの機能の制限
- アプリやSNSの利用時間の設定



Self Service アプリカタログ



JamfのSelf Serviceを使えば、学校専用のアプリカタログを作成でき、効率的に各種リソースを配信できます。デバイス管理者がアプリやPDFファイル等の各種リソースをカタログアプリへ掲載することで、ユーザは希望のアプリを選択形式でインストールできます。

2つのアプリ配布方法

デバイス管理者はアプリの配信方法を「強制配信」(管理者が自動インストール)と「カタログ配信」(許可されたアプリを児童生徒が自らインストール)を使い分けることができます。管理者の負荷軽減のみならず、ユーザの利便性の向上や端末の空き容量の確保、ネットワークの負荷軽減などにつながります。



Jamf Data Policy データ通信量可視化



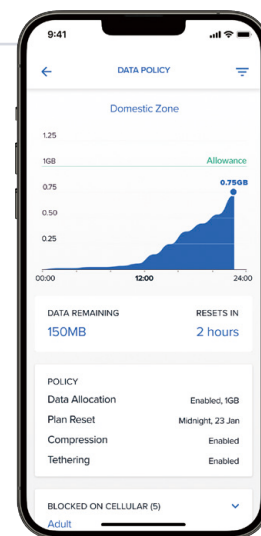
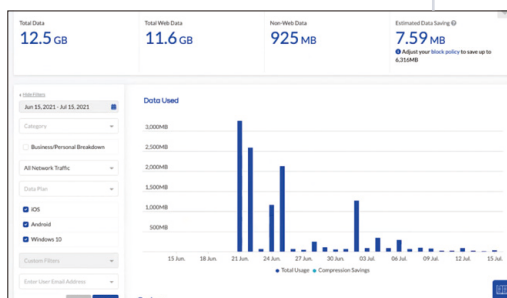
Jamf Data Policyは一般的なコンテンツフィルタでは難しい、データ通信量の可視化や通信量上限値の設定が可能です。管理者はデバイスごとの利用状況をわかりやすく管理コンソールでリアルタイムに把握できます。

データ通信量などを児童生徒や教職員が確認できます

YouTubeの通信は月あたり5GBまでに制限等できます

データ通信量可視化のメリット

- 接続先のドメインごとのデータ通信量がわかる
- 宛先ドメインごとにデータ通信量の上限設定ができる
- Wi-Fi / LTE 通信種別ごとのアクセス可否を設定できる
- デジタル教科書や新しく導入したWebサービスの利用状況の可視化に使える



Jamf Teacher 授業支援



先生は授業中に児童生徒のiPadへ制限を加えたり、メッセージの送信することができます。

主な機能

- 特定のWebサイトやアプリをロックすることにより、クラス内の児童生徒を管理する
- カメラやスペルチェックなどのデバイス機能を制限することにより、クラス内の児童生徒を管理する
- リモートクラスへ児童生徒を招待する
- 画面をロックし、メッセージを送信する